

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	嚥下障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 月2・月3	教室名	4校舎301
担 当 教 員	澤 美菜子、酒井 崇	実務経験と その関連資格	急性期病院、がんセンター、在宅療養支援診療所に勤務(澤 美菜子)			
《授業科目における学習内容》						
摂食嚥下障害に関する基礎知識を習得し、評価・訓練について学ぶ。成人患者の臨床に対応できることを目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」 その他適宜参考資料 ビデオ等						
《授業外における学習方法》						
授業終了後に教科書、配布資料を各自で復習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
質問を歓迎します。疑問は共有して全員で学習しましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下の仕組みについて理解する 誤嚥性肺炎について理解する	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト		
		各コマにおける授業予定	嚥下について考える、障害について考える 誤嚥性肺炎の発声機序			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下に関わる身体の構造を理解する	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	嚥下に関わる骨と筋肉①			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下に関わる身体の構造を理解する	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	嚥下に関わる骨と筋肉②			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器官の仕組みと働きを理解する	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	口腔器官の仕組みと働き①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下のメカニズムを理解する	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の5期モデル、プロセスモデル			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下のメカニズムを理解する 嚥下の評価について学ぶ	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の5期モデル、プロセスモデル 主観的評価、客観的評価		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下の訓練について学ぶ	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	直接訓練・間接訓練		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域連携 嚥下についてまとめる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	総復習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例を通して摂食嚥下障害のリハビリテーションについて考える	パソコン・プロジェクター	第1～8回の内容を振り返っておく。
		各コマにおける授業予定	症例提示、感想文		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	誤嚥性肺炎について理解する	パソコン・プロジェクター	該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	I 誤嚥性肺炎について II 経管栄養の特徴 III 気道上皮の線毛運動について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害による摂食嚥下障害について理解する(1)	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 脳血管障害の概要 II 偽性球麻痺の嚥下障害		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害による摂食嚥下障害について理解する(2)	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	III 球麻痺の嚥下障害		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経・筋疾患による摂食嚥下障害について理解する	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 神経・筋疾患の概要 II 主な疾患		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	悪性腫瘍による摂食嚥下障害について理解する	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 悪性腫瘍の概要 II 頭頸部がんの嚥下障害とリハビリテーション III 補綴装置について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の手術治療と気管切開について理解する	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 嚥下機能改善手術 II 誤嚥防止手術 III 気管切開とカニューレの種類について		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	嚥下障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 月2・月3	教室名	4校舎301
担 当 教 員	澤 美菜子、酒井 崇	実務経験と その関連資格	急性期病院、がんセンター、在宅療養支援診療所に勤務(澤 美菜子)			
《授業科目における学習内容》						
摂食嚥下障害に関する基礎知識を習得し、評価・訓練について学ぶ。成人患者の臨床に対応できることを目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」 その他適宜参考資料 ビデオ等						
《授業外における学習方法》						
授業終了後に教科書、配布資料を各自で復習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
質問を歓迎します。疑問は共有して全員で学習しましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害の評価(1):摂食嚥下障害の評価について理解 する		パソコン・プロジェ クター	前回までの授業内容を 復習し、理解しておくこ と。	
	各コマに おける 授業予定	I 評価の目的と流れ II スクリーニングテスト				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	口腔・咽頭の解剖を理解する		パソコン・プロジェ クター	前回までの授業内容を 復習し、理解しておくこ と。	
	各コマに おける 授業予定	口腔・咽頭の解剖について				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害の評価(2):VF,VE,その他の検査法について理 解する		パソコン・プロジェ クター	前回までの授業内容を 復習し、理解しておくこ と。	
	各コマに おける 授業予定	I VF II VE IIIその他の検査法				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下リハビリテーション:(1)間接的嚥下訓練について理解 する		パソコン・プロジェ クター	前回までの授業内容を 復習し、理解しておくこ と。	
	各コマに おける 授業予定	I 間接(的)嚥下訓練(基礎的嚥下訓練)				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下リハビリテーション:(2)直接的嚥下訓練について理解 する		パソコン・プロジェ クター	前回までの授業内容を 復習し、理解しておくこ と。	
	各コマに おける 授業予定	II 直接(的)嚥下訓練(摂食訓練)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の評価、訓練の進め方について理解する	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ケーススタディ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢・廃用・認知症患者の摂食嚥下障害について理解する	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 加齢・廃用と摂食嚥下障害 II 認知症と摂食嚥下障害		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養・脱水・口腔ケアについて理解する	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 嚥下障害と栄養障害の関係について II 脱水について III 嚥下障害と口腔ケア		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			